

# 全身で考え・語りかけ・歌い・感じる実践中心の3日間研修 2013年 新任教師ゼミナール

2013年3月25日～27日 ©ルビノ京都堀川



藤原通晴理事から激励のメッセージ

本年の新任ゼミナールは80名の参加者を迎え、開催いたしました。設置者・園長・後継者研修、主任・リーダー研修、教員研修との合同オープニング、基調講演の後、会場を移動し、新任ゼミナールが開会しました。

冒頭に当会理事の藤原通晴先生（日本平幼稚園園長）より新任教師としてスタートされる先生方へ激励のメッセージをいただきました。

本ゼミナールでは社会人としての第一歩を踏み出す先生方の即戦力となるように、社会人としてのマナーや保育者の心構え、新学期からすぐに使える実践内容等を学べるようになっており、講義は主席講師の中川登美子先生（当会教育顧問）、小林まき子先生（当会研究部講師）、中村真理子先生（当会研究部講師・四国大学短期大学部講師）の三名の講師を中心に進められ、「保育者としての心構え」については保育者として望ましい姿やマナーをお伝えしていただきました。

実践研修では藤村純子先生（ビジネスマナー研究所主宰・接客戦略コンサルタント）による、社会人としてのマナー、学生と社会人の違いを中心に、新社会人である今だからこそ基礎を培い気遣いを持って臨むことの大切さをしっかりとお話いただきまし



作ったペンダントカードで幼児のあそび体験

た。

加藤厚司先生（幼年総合音楽あそび研究会代表）による「楽器の扱いとリズムあそび」では実際に受講者の先生方が楽器に触れ、拍打ちを体験するなど参加型の内容に受講されている先生方も楽しそうに受講されていました。

また、今回のゼミナールでも新学期からすぐに役立つ内容として「4月の幼児の姿と配慮点」や「保護者への挨拶」「園に慣れてない子ども達への言葉かけ」や、実際に手遊びやゲームを全員で体験するなどの参加型の講義を盛り込むことにより講義の中で受講の先生方同士のコミュニケーションの場も多く設けられ、沢山のひとと関わっていく中で同じ新社会人として情報を提供し、意見を交換しあいながら熱心に学んでいました。

最終日3日目には中川登美子先による「初めての参観日を成功させるために」のテーマで模擬保育形式での実践研修がおこなわれました。

最後に「先輩からのメッセージ」として昨年この新任ゼミナールに参加された、五字ヶ丘幼稚園（兵庫）の横田采郁先生と寝屋保育園（大阪）の橋元那実先生から受講された先生方に励ましのメッセージをいただきました。